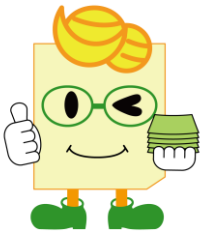


らく点マークくん３Lite操作マニュアル

もくじ

ソフトウェアVer.1.4.0.0対応
更新日：2025年7月7日

1 必要なもの …… P2

2 らく点マークくん3Liteのインストール …… P2

3 ライセンスキーの登録方法 …… P3

4 フォルダ・試験・テスト作成…… P4

5 名簿管理 …… P8

6 正解配点登録 …… P9

7 シート読み取り …… P14

8 複数シート読み取り／読み取りデータ振り分け …… P15

9 データ確認・修正 …… P16

10 採点結果表示 …… P19

11 CSV読み取り …… P19

12 帳票出力 …… P20

13 自己採点結果入力シートの使用方法 …… P25

14 こんな時は …… P26

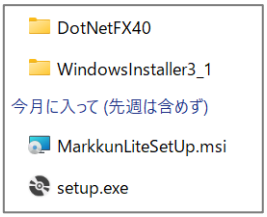
15 お問い合わせ …… P28

1 必要なもの

・Windowsパソコン
・スキャナ又は複合機（JPEG形式・カラー・200dpiのスキャンに対応しているもの）
・マークシート（らく点マークくん３Lite対応型番）
・生徒の名簿リスト（CSV形式・エクセル形式）
※読み取るシートから名簿に登録することもできます

2 らく点マークくん３Liteのインストール

①専用ダウンロードページよりらく点マークくん３Liteをダウンロードします。
（ライセンスキー送付メールと一緒に記載がございます。）
②MarkKun3lite_v1.*.*.*.zipを展開し、setup exe を実行してください。



③「らく点マークくん３Lite セットアップウィザードへようこそ」画面が出たら
「次へ」ボタンをクリックし「同意する」にチェックをしたら、「次へ」ボタンをクリックします。

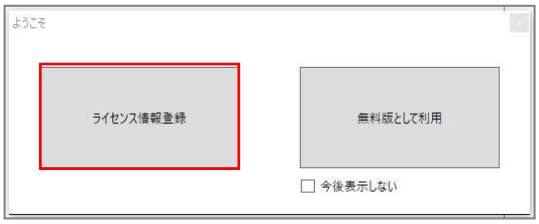
④「インストールの確認」が表示されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。
インストールが開始されます。
「インストールが完了しました。」の画面が表示されたら、
「閉じる」ボタンをクリックしてください。

⑤デスクトップ上に「らく点マークくん３Lite」のアイコンが表示されていれば、
インストール完了です。

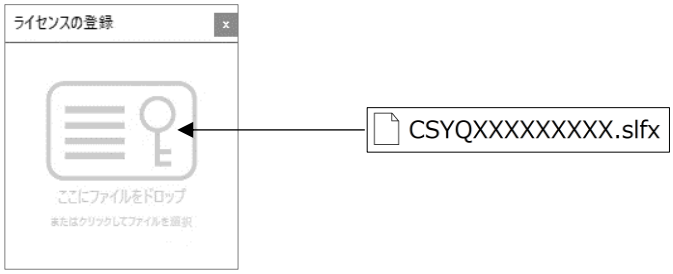
3 ライセンスキーの登録方法

ソフトをご利用いただくためにはライセンスキー登録が必要になります。
『年間でA4サイズのシート2箱以上ご購入』または、
『Z会の本/河合塾の問題集/代ゼミの教材/駿台文庫の利用＆シート100枚以上ご購入』で、
1年間無料利用できるライセンスキーをお送りします。
学校につき１つのライセンスキーとなり、複数台のパソコンでご利用いただけます。
お申し込みされる場合は、弊社までお問い合わせください。（P28参照）

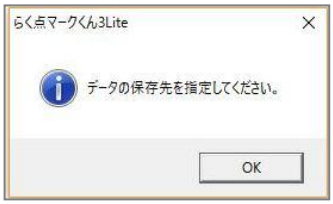
①らく点マークくん３Liteを起動した後に表示される「ようこそ」画面
「ライセンス情報登録」ボタンをクリックしてください。



②「ライセンスの登録」画面が表示されるので、弊社よりお渡しているライセンスキーを
ドロップして登録をお願いします。
※「ライセンスの登録」画面をクリックして、ライセンスキーのファイルを指定して
登録する事もできます。



データの保存先の指定について



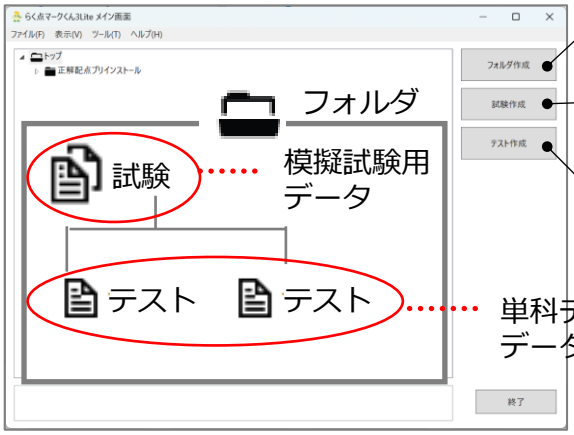
データの保存先の指定とは、
読取ったシート画像やソフト内のデータが保存される場所です。
初期設定では、マイドキュメントまたはドキュメントの「ScanetData]
フォルダに設定されております。保存先はなるべく変更せず、初期設定の
ままご登録ください。（図1参照）

図1

ここからデータの保存場所を指定して変更する事ができます。

4 フォルダ・試験・テストの作成

「メイン」画面について



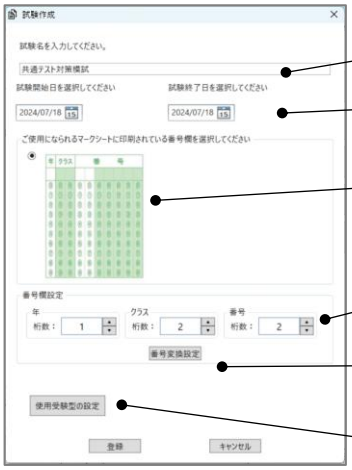
作成した試験やテストをまとめて管理できます。

複数のテストのデータをまとめる事ができます。
名簿リストを登録すると、試験の直下に作成したテストにも登録されます。
データはコピーする事ができます。（P5参照）

１回のテストだけを実施する際に作成します。
テストごとにも名簿リストを登録する事ができます。

①フォルダの作成
「フォルダ作成」ボタンをクリックし、フォルダ名を入力して「登録」ボタンをクリックします。

②試験の作成
「試験作成」ボタンをクリックします。
模擬試験など複数のテストを１つの採点結果として出力したい場合は試験作成を行います。



試験名は出力データと出力帳票に反映・印字されます。

試験の開始日と終了日を設定できます。

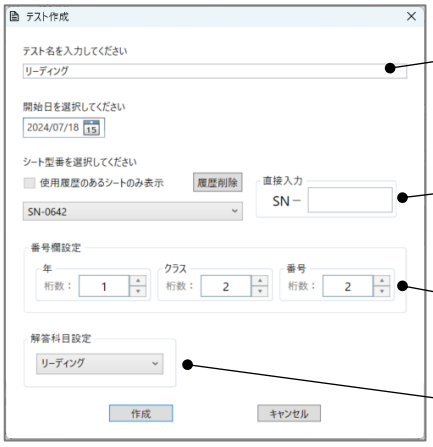
年クラス番号形式のシートのみご利用いただけます。

年クラス番号の桁数を設定します。
※番号変換設定をする場合は、**変換後の桁数**にあわせてください。

「番号変換設定」では英文字など含む番号を使用するときに利用できる設定です。（P6参照）

「使用受験型の設定」では試験で使う受験型を設定できます。（P7参照）

③テストの作成
「テスト作成」ボタンをクリックします。
１回のテストだけを採点する場合はテスト作成を行います。



テスト名は出力データと出力帳票に反映・印字されます。

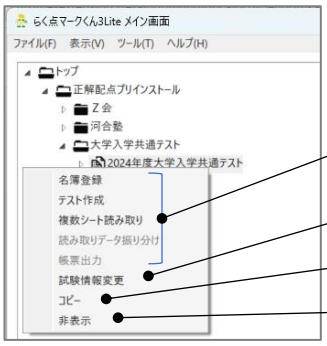
シート型番は、利用するマークシートの型番を選択します。
型番はマークシートの表面右下に記載があります。
（SN-〇〇〇〇）
※解答欄が2つあるシート型番（地歴公民②・理科②）については、SN-0645/SN-0645R/SN-0645Lというように、3種類の型番があります。（P7参照）

年クラス番号の桁数を設定します。
「試験作成」から設定している場合、変更はできません。

設定する科目を選択してください。
※試験の直下に作成する場合のみ表示されます。

試験のコピーについて

試験データはコピーする事ができます。
メイン画面よりコピーしたい試験データを選択し、右クリックし「コピー」をクリックします。



選択したデータにする操作を選べます。

試験情報変更をクリックすると、
一度作成した試験データの登録内容を変更できます。
※テストデータも同様です。

コピーをクリックします。（図2参照）

試験データを画面上から非表示とします。※データは削除されません。

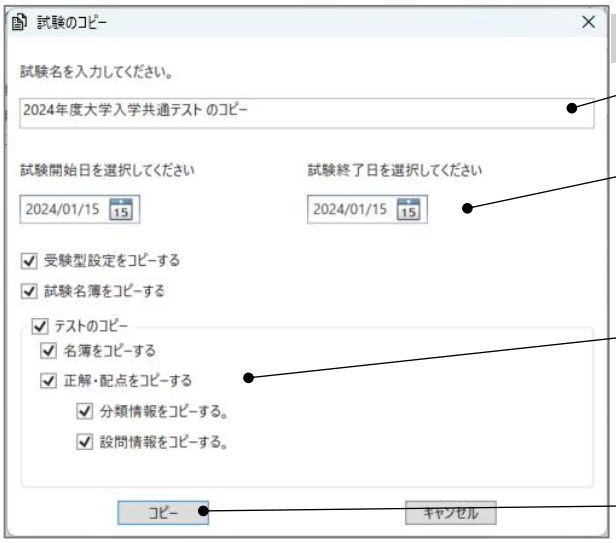


図2

試験名は変更します。

試験の開始日と終了日を設定できます。

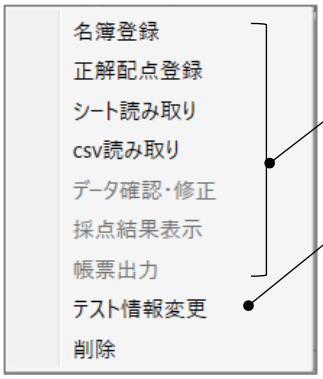
コピーしたい項目にチェックを入れます。
・受験型設定
・試験名簿
・テスト（試験直下に作成されているデータ）
　└・名簿
　　・正解・配点
　　└・分類情報
　　・設問情報

コピーをクリックします。

！注意！
テストデータ内のシート画像データはコピーされません。

右クリックで表示される一覧

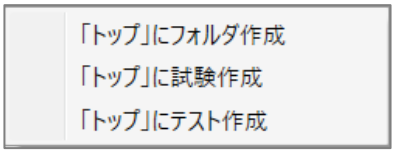
●テストデータを選択した場合



選択したデータにする操作を選べます。

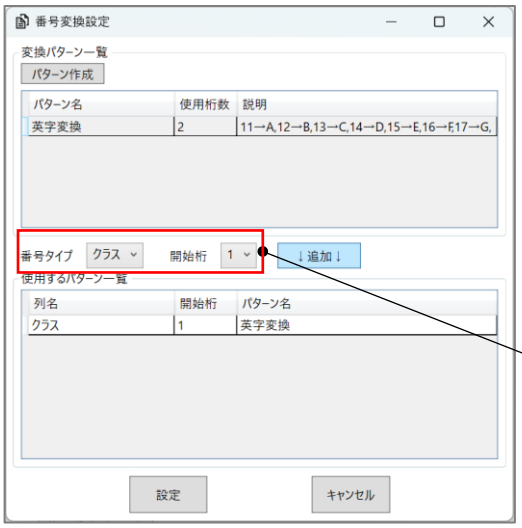
一度作成したテストデータの登録内容を変更できます。

●メイン画面上



トップに
フォルダ・試験・テストデータを
作成する事ができます。

番号変換設定の方法



「パターン作成」をクリックし、変換パターンを作成します。（図３参照）
作成したパターンを青く選択し、番号タイプと開始桁数の数字をプルダウンから設定して「追加」ボタンをクリックしてください。
下のBOXに設定した内容が表示されますので、内容に問題がなければ「設定」をクリックしてください。
※名簿の登録、テスト作成前にしか設定できません。

番号タイプと開始桁について、それぞれ設定します。（例：A組という番号変換設定をしたい場合、番号タイプを「クラス」開始桁を「1」と設定してください。実際にマークするときは、11 となります。）

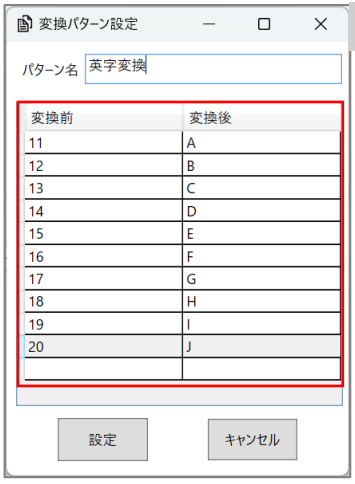


図3

パターン名を入力します。
変換前の数字と変換後の文字を入力して、
使用する全てのパターン分作成をします。
「設定」ボタンをクリックします。

！ポイント！
①変換後の文字は**全角一文字**もしくは**半角二文字**となります。
②変換前と変換後は同じ文字に設定する事はできません。
③変換前の文字数は全て**同じ数に設定**してください。

【「英数変換」パターンの変換表】※作成のご参考※

（アルファベット大文字）
A:11 B:12 C:13 D:14 E:15 F:16 G:17 H:18 I:19 J:20
K:21 L:22 M:23 N:24 O:25 P:26 Q:27 R:28 S:29 T:30U:31 V:32 W:33 X:34 Y:35
Z:36

（アルファベット小文字）
a:41 b:42 c:43 d:44 e:45 f:46 g:47 h:48 i:49 j:50 k:51 l:52 m:53 n:54 o:55 p:56
q:57
r:58 s:59 t:60u:61 v:62 w:63 x:64 y:65 z:66

（半角ハイフン）
-:71

（数字）
0:00 1:01 2:02 3:03 4:04 5:05 6:06 7:07 8:08 9:09

使用受験型の設定方法

使用する受験型にチェックを入れ、
「設定」をクリックします。
初期状態では、５パターンの受験型が
設定されています。
受験型は、「帳票出力」画面より新しく作成する
事ができます。
※シート読み取り後、設定可能（詳しくはP23）

【受験型登録内容一覧】

国立文系1000点：満点1000点　「リーディング」「リスニング」「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・A」「数学Ⅱ・B・C」「物理」「化学」「生物」「地学」「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「歴史総合，日本史探求」「歴史総合，世界史探求」「地理総合，地理探求」「公共，倫理」「公共，政治・経済」「地理総合」「歴史総合」「公共」「情報Ⅰ」

国立理系1000点：満点1000点　「リーディング」「リスニング」「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・A」「数学Ⅱ・B・C」「物理」「化学」「生物」「地学」「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「歴史総合，日本史探求」「歴史総合，世界史探求」「地理総合，地理探求」「公共，倫理」「公共，政治・経済」「地理総合」「歴史総合」「公共」「情報Ⅰ」

文理900点　：満点900点　「リーディング」「リスニング」「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・A」「数学Ⅱ・B・C」「物理」「化学」「生物」「地学」「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「歴史総合，日本史探求」「歴史総合，世界史探求」「地理総合，地理探求」「公共，倫理」「公共，政治・経済」「地理総合」「歴史総合」「公共」「情報Ⅰ」

私立文系500点　：満点500点　「リーディング」「リスニング」「歴史総合，日本史探求」「歴史総合，世界史探求」「地理総合，地理探求」「公共，倫理」「公共，政治・経済」「地理総合」「歴史総合」「公共」

私立理系500点　：満点500点　「リーディング」「リスニング」「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・A」「数学Ⅱ・B・C」「物理」「化学」「生物」「地学」

地歴公民②　理科②シート型番の設定方法

●試験の直下に作成したテストの場合

シート型番は、「SN-0645」「SN-0647」が通常通り設定できます。
正解シート読み取りをする場合、
<u>左側</u>の解答欄のマークを、正解マーク番号として読み取ります。

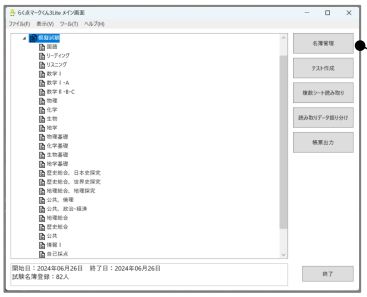
●テスト単体の場合

①

②

シート型番は「SN-0645L（LeftのL）」と「SN-0645R（RightのR）」のどちらかを設定できます。
シート読み取りをする場合、**<u>左側の解答欄を使用する場合「SN-0645L」、右側の解答欄を使用する場合「SN-0645R」</u>**を設定します。※SN-0647も同様。

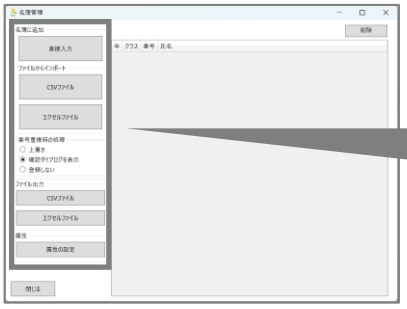
5 名簿管理

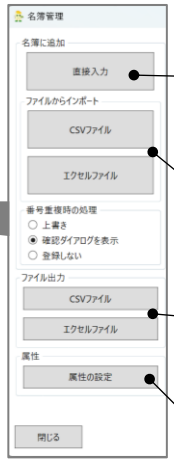


生徒の名簿リストを登録します。

メイン画面右上の「名簿管理」ボタンをクリックしてください。
名簿は、試験とテストのどちらにも登録する事ができます。試験に登録すると、直下に作成したテスト全てに登録する事ができます。

「名簿管理」画面について





○「直接入力」で生徒を登録する場合
「直接入力」ボタンをクリックして番号と氏名を入力します。登録後の修正は同画面上のセルをクリックすると修正が行えます。（図4参照）

○「ファイルからインポート」で生徒を登録する場合
CSV形式・エクセル形式の生徒の名簿リストを取り込んで登録する事ができます。（図5参照）

○「ファイル出力」について
登録した名簿リストをCSV形式・エクセル形式で出力する事ができます。

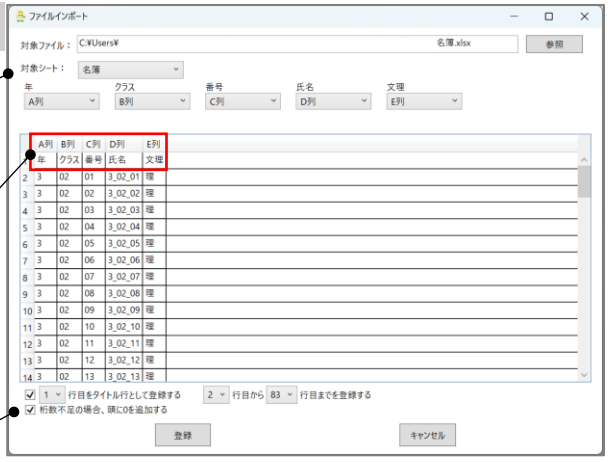
○「属性の設定」について
年・クラス・番号・氏名の他に、性別など属性を設定する事ができます。
（図6参照）

図4

年・クラス・番号と氏名やその他の属性を入力し、「登録」ボタンをクリックします。

「ファイルインポート」画面について

図5

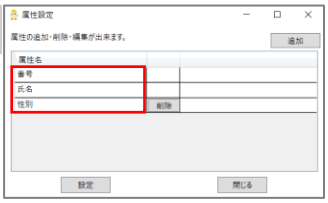


○対象シート
生徒の名簿が登録されているシート名をここで選択してください。
※CSV形式のファイルの場合は選択できません

○登録の属性名
用意した生徒の名簿リストの属性と、画面の属性が一致するように選択してください。
（例：A列が年、B列がクラス、C列が番号、Dが名前等）

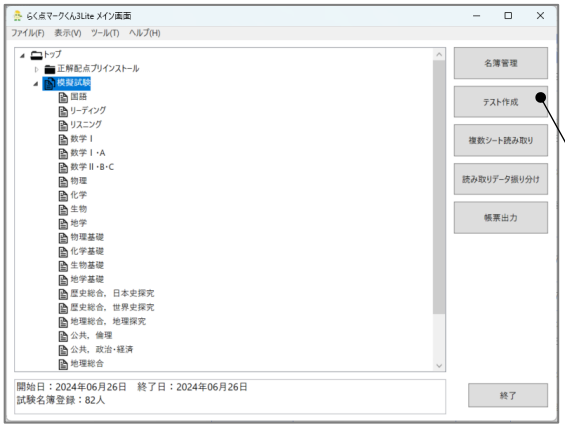
○桁数不足の場合、頭に０を追加する
このチェックボックスにチェックを入れると、試験・テスト作成時に設定した番号の桁数に満たない生徒の出席番号の頭に０を追加してエラーにならないように登録する事ができます。

図6



年クラス番号と氏名の他に、属性を新しく設定する事ができます。
「追加」ボタンをクリックし、属性名を入力して
「設定」ボタンをクリックしてください。
属性は出力データと出力帳票に反映します。

6 正解配点登録



正解と配点を登録します。
正解配点登録方法は３つあります。
①直接入力
②エクセルファイルインポート（P10参照）
③正解/配点シート読み取り（P13参照）

メイン画面右上の「正解配点」ボタンをクリックしてください。

「正解配点登録」画面について

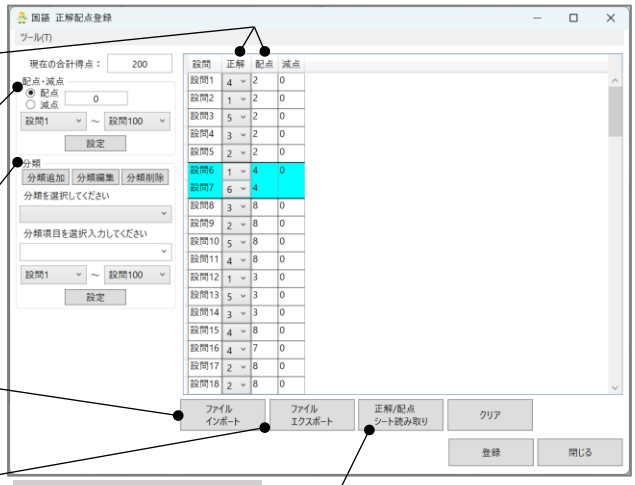
直接入力する場合、
正解のプルダウンをクリックし番号を指定し、配点の点数を入力します。

○「配点・減点」について
設問ごとの点数を設定します。設問**～**まで範囲を指定して一括で設定する事ができます。

○「分野」について（下記参照）
設問の範囲を指定して一括で設定できます。

○「ファイルインポート」について
データをインポートする方法で登録します。
（P10参照）

登録した正解配点のエクセル・CSVファイルを出力します。



正解配点登録画面

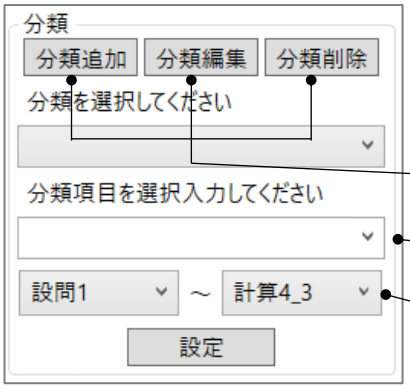
○「正解/配点シート読み取り」について
模範解答のシートと配点の数字がマークされたシートを読み取る事で登録できます。（P13参照）

○「設問タイプ」について
大問形式のシート型番の場合、数字で表示させるかカタカナで表示させるか選択できます。

○「大問ごとの配点」について
大問ごとの点数が表示されます。

大問形式シート型番の正解配点登録画面

分野の設定方法



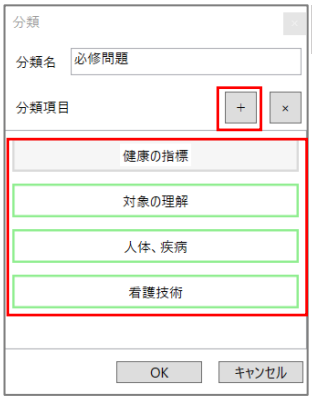
分野の設定では、
設問ごとに「分野」を登録する事ができます。
分野は複数のパターンを設定できます。

分野の登録、編集、削除します。（図5参照）

複数登録した分類の中から選択します。

登録した分野の分野項目が表示されます。設問の範囲を選択し「設定」ボタンをクリックします。

図5

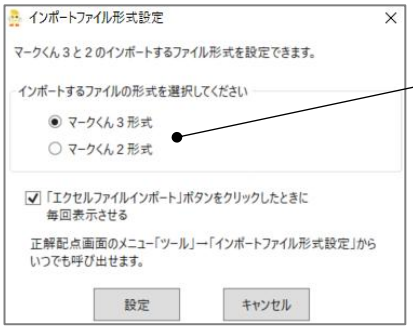


分野名を入力します。
分野項目名を入力します。
＋ボタンをクリックすると、
分野項目を**追加**できます。
×ボタンをクリックすると、
不要な分野項目を**削除**できます。

！ポイント！
①分野は複数作成する事ができます。
②同じ設問に**２つの分野項目を設定**する事ができます。
③採点結果データには、**分野ごとの合計得点が出力**されます。

「エクセルファイルインポート」の登録方法

正解配点登録は、エクセルファイルもしくはCSVをインポートする事でも登録できます。



インポートするファイル形式を選択します。
マークくん2とは、
「らく点マークくんスタンダード」もしくは
「らく点マークくんセンターLite」の事で、これらのソフトで作成した
正解配点のExcelファイル・CSVをインポートする事ができます。

らく点マークくん
スタンダード

らく点マークくん
センターLite

○正解について
正解となる番号、カタカナ、アルファベットを入力します。2つ以上ある場合は“,”で区切ってください。（P12参照）

○配点について
点数の数値を入力します。正解が連続で複数となる場合、先頭の設問の配点行に数字を入れます。（P12参照）

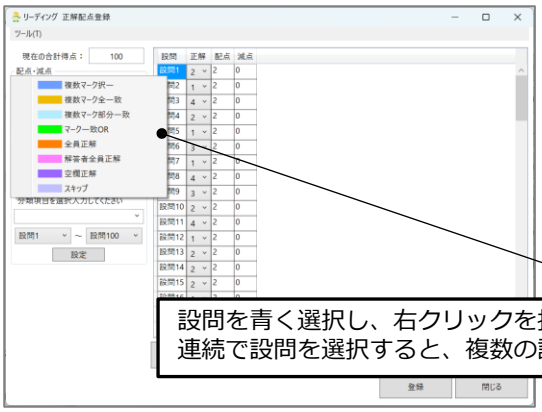
○採点タイプ
通常採点以外に、複数マーク全一致,マーク一致orなど特殊な採点方法がある場合、採点タイプから設定できます。採点タイプ詳細は別途ご確認ください。（P11-12参照）

○分野について
設問ごとに分類を登録する事ができます。

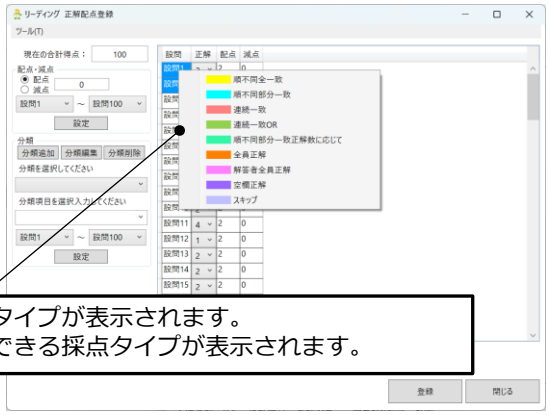
採点タイプの設定方法

１つの解答につきX点という通常採点方法以外にも様々な採点方法を設定する事ができます。
連番する設問に対して設定する事もできます。
設定方法は、ソフトから手動で設定する方法とエクセルファイルをインポートする方法の２パターンございます。

１つの設問を選択した画面



連続する設問を選択した画面



設問を青く選択し、右クリックを押すと採点タイプが表示されます。
連続で設問を選択すると、複数の設問に設定できる採点タイプが表示されます。

採点タイプ内容詳細（１つの設問）

１つの設問に設定できる採点タイプ

択一（通常採点）　採点タイプ：0
１問ずつ点数を設定する場合。

複数マーク全一致　採点タイプ：7
「１～５の中から正しいものを二つ選びなさい」というような問題において、一つのマーク欄を用いて解答させる場合。正解と解答が過不足なく全て一致した場合のみ正解とする。

複数マーク部分一致　採点タイプ：8
「１～５の中から正しいものを二つ選びなさい」というような問題において、一つのマーク欄を用いて解答させる場合。解答マークのうち正解マークと一致した数に応じて得点を与える。

複数マーク択一　採点タイプ：6
「１～５の中から正しいものを一つ選びなさい」というような問題において、正解が複数ある場合。解答マークは一つのみ。解答マークがマークの正解マークのどれかと一つと一致すれば正答とする。
（複数回答は不正解）

マーク一致OR　採点タイプ：13
得点を与える解答マークが複数ある場合。
（例：正解マーク１が５点、３が３点の場合など。）
複数の正解のうちいずれかと一致する場合のみ正答とする。

採点タイプ内容詳細（複数設問・共通）

複数の設問に設定できる採点タイプ

順不同全一致　採点タイプ：1
「１～５の中から正しいものを二つ選びなさい」というような問題において、連続する複数のマーク欄を用いて解答させる場合。正解と解答が過不足なく全て一致した場合にのみ正解とする。

順不同部分一致　採点タイプ：2
「１～５の中から正しいものを二つ選びなさい」というような問題において、連続する複数のマーク欄を用いて解答させる場合。解答マークのうち正解マークと一致した数に応じて得点を与える。

連続一致　採点タイプ：3
「１～５の中から正しいものを二つ選びなさい」というような問題において、連続する複数のマーク欄を用いて解答順序も指定させる場合。正解と解答が過不足なく順序含め全て一致した場合にのみ正解とする。

連続一致OR　採点タイプ：5
連続一致での採点において、正解が複数ある場合。
（例：角ABC角EFGのどちらでも正解の場合など、連続一致と同じ方式で、複数の正解のうちいずれかと一致する場合のみ正答とする。

順不同部分一致正解数に応じて　採点タイプ：4
「１～５の中から正しいものを二つ選びなさい」というような問題において、連続する複数のマーク欄を用いて解答させる場合。正解と一致した個数に応じて得点を与える。正解の並び順は異なってもよい。

共通の採点タイプ

全員正解　採点タイプ：9
解答内容問わず（空欄でも）正解にする。

解答者全員正解　採点タイプ：10
解答している場合は、正解にする。（空欄は不正解）

空欄正解　採点タイプ：14
解答欄が空欄の場合のみ、正解にする。

スキップ　採点タイプ：11
解答内容を問わず（空欄でも）配点・減点をしない。

その他

採点マーク欄（SN-0411,0412,0413限定）採点タイプ：19
採点マーク欄の点数を、入力した数値で登録する事ができる。

数値マーク択一（SN-0649限定）採点タイプ：19
点数を、入力した数値で登録する事ができる。

※採点タイプ一覧表はP27をご確認ください。

正解配点インポート用エクセルファイルについて

インポートする正解配点のエクセルファイルは下図のように作成してください。

連番形式

	A	B	C	D	E
1	設問	正解	配点	採点タイプ	問題種別
2	設問1	3	1	0	必修問題
3	設問2 ※必須	※必須 1	※必須 1	※必須 0	必修問題 ※任意
4	設問3	4	1	0	必修問題
5	設問4	3	1	0	必修問題
6	設問5	2	1	0	必修問題
7	設問6	1	2	1	必修問題
8	設問7	1			必修問題
9	設問8	3	1	0	必修問題
10	設問9	4	1	0	必修問題
11	設問10	2,4	1	6	必修問題

複数解答の場合は，で区切る

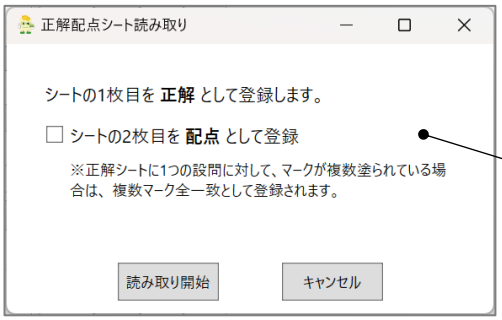
複数の連続する設問に採点タイプを設定する場合、配点と採点タイプは先頭行にのみ入力します。

大問形式

	A	B	C	D	E
1	設問	正解	配点	採点タイプ	問題種別
2	設問1_1	3	1	0	必修問題
3	設問1_2	1	1	0	必修問題
4	設問1_3	4	1	0	必修問題
5	設問1_4	3	1	0	必修問題
6	設問1_5	2	1	0	必修問題
7	設問1_6	1	2	1	必修問題
8	設問1_7	1			必修問題
9	設問1_8	3	1	0	必修問題
10	設問1_9	4	1	0	必修問題
11	設問1_10	2,4	1	6	必修問題

大問形式の場合、「設問1_1」という形式とし、「設問1_1」から「設問1_30」まで、シートにある問題数に合わせて設問は用意します。
※カタカナの場合は「設問1_ア」となります。
※使用するシート型番の大問の数をご確認ください。
登録しない正解・配点・採点タイプは空欄とします。

「正解/配点シート読み取り」について



模範解答にマークした正解シートと
配点とする番号にマークした配点シートを用意します。
「読み取り開始」ボタンをクリックします。

配点シートを用意した場合、チェックをいれます。シートにマークできる番号の配点のみ、登録ができます。

使用しない設問は空欄エラー、複数正解の場合はマルチマークエラーとして表示されますが、このままご登録いただいて問題ございません。

しっかりマークされているのに空欄エラー、もしくは、マークされていないのにマルチマークエラーになる場合、マーク認識閾値を調整します。（下記参照）

【地歴公民②・理科②シートについて】
シート型番がSN-0645の場合、**左側の解答欄**のマーク番号が正解として登録されます。SN-0645Lの場合は**左側**、SN-0645Rの場合は**右側**が正解として登録されます。※SN-0647も同様。

「閾値（しきいち）変更」について

閾値変更

しっかりマークされているのに空欄エラー、もしくは、マークされていないのにマルチマークエラー、正しい数字・文字が表示されないフォーマットエラーになる場合、マーク認識閾値を調整します。「データ確認修正」画面下にある「閾値変更」をクリックしてください。（図6参照）

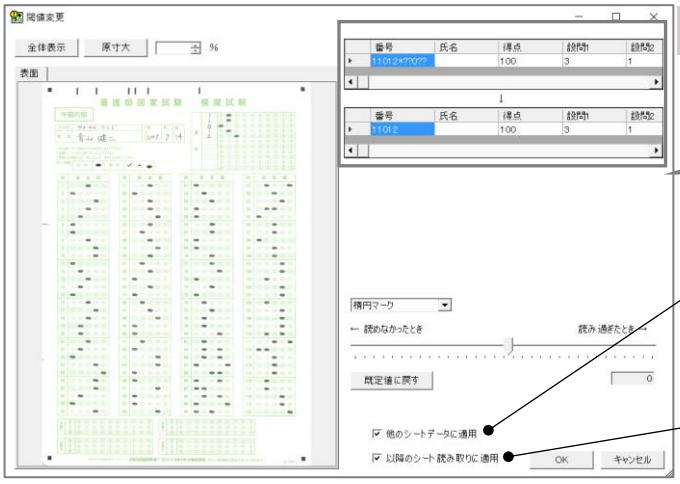
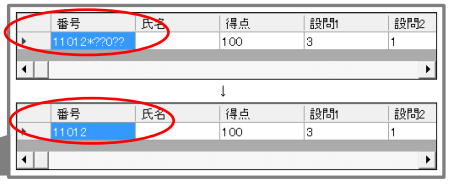


図6



○他のシートデータに適用
確認修正中のシート全てのスキャン結果に対しマーク認識閾値を適用する場合にチェックします。

○以降のシート読み取りに適用
今後読み取る全てのシートのスキャン結果に対しマーク認識閾値を適用する場合にチェックします。

真ん中にあるバーを動かして、マーク認識閾値の調節設定を行います。
しっかりマークされているのに空欄エラーになる場合は、読めなかったとき方向へ動かしてください。
マークされていないのにマルチマークエラーになる場合は、読みすぎたとき方向へ動かしてください。

7 シート読み取り

答案用紙のマークシートを読み取ります。
※地歴公民②（地理総合/歴史総合/公共）・理科②（物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎）シートの場合、どの科目データを選択肢、シート読み取りをしても複数シートと同様に自動振り分けされるため、２度読み取らせる必要がありません。（P15参照）

メイン画面右上の「シート読み取り」ボタンをクリックしてください。

「シート読み取り」画面について

フォルダ読み取り中と表示された画面が表示されます。ここでスキャンを開始すると、読み取りに問題がなければ、画像処理件数と、正常読み取り件数が上がります。投票シートの枚数分の件数が上がったら、「読み取り停止」ボタンをクリックし「閉じる」ボタンをクリックしてください。

読み取りに問題があると、読み取りエラー件数が上がってしまいます。読み取りエラーとなってしまった投票シート画像は集計処理ができないため、問題を解決し再度スキャンと読み取り直しが必要になります。「読み取り停止」ボタンをクリックすると、赤文字でエラー内容が表示されます。（図8参照）

図8

一部のシート型番は混在読み取りが可能です。（P27参照）

○エラー内容について
赤文字で表示されます。

○エラー画像保存フォルダについて
読み取りエラーとなった画像が保存されており、画像を見て以下に該当しないか確認してください。
・正常な向きか
・カラーで読み取れているか
・余白が出ていないか
（P26-27参照）

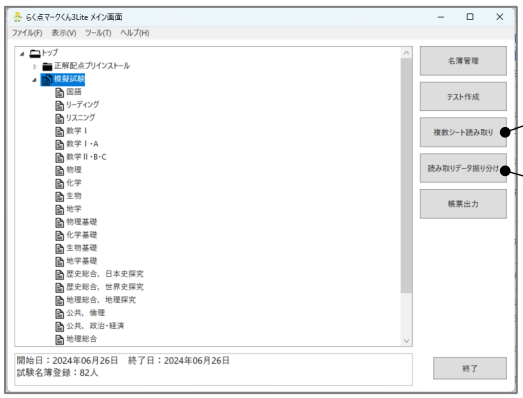
【シート読み取り・集計の仕組み】
監視フォルダ【ScanTmp】にJPEG・カラーの設定でスキャンしたシート画像を保存し、ソフトウェアが<フォルダ読み取り中>の画面に移ると、シート画像をソフトがデータ処理する事ができます。

★スキャナもしくは複合機の設定で、スキャンしたシート画像の保存先を、マイドキュメント内の監視フォルダ【ScanTmp】に設定いただくとスムーズに操作いただけます。シート画像を別のフォルダに保存し、コピーまたは切り取りで監視フォルダ【ScanTmp】に入れる方法でも同様の操作となります。スキャンしたシート画像は一つのフォルダにまとめず、そのまま監視フォルダ【ScanTmp】に保存してください。

8 複数シート読み取り／読み取りデータ振り分け

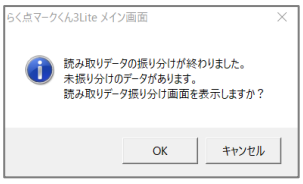
複数シート読み取りについて

異なる科目データにシートを読み取らせても、シートの科目欄にマークされている科目データに自動的に振り分けがされる機能です。試験データにシートを読み取らせる場合に利用します。
科目欄のマークミスがないようお気を付けください。



試験データを選択し、メイン画面の「複数シート読み取り」ボタンをクリックし、シート読み取りを行います。（詳しくはP14）

試験データを選択し、メイン画面の「読み取りデータ振り分け」ボタンをクリックします。

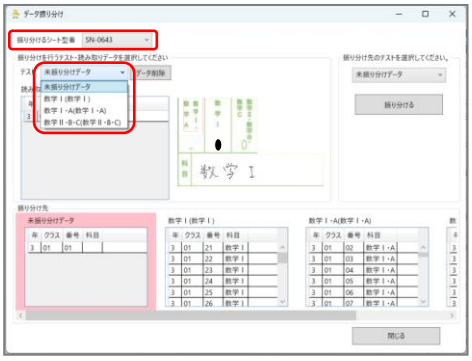


読み取りが終了すると、左記画面が表示されるので、OKボタンをクリックします。

読み取りデータ振り分けについて

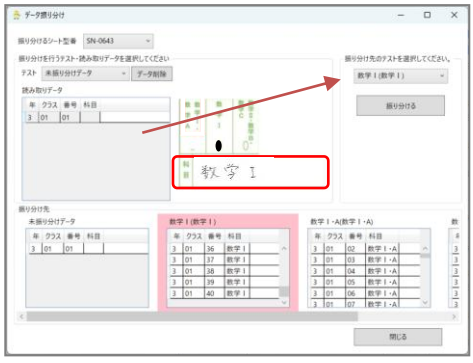
複数シート読み取り後、正しく振り分けられなかったデータを手動で振り分ける操作です。
集計結果に影響がございますので、「未振り分けデータ」にはデータが残らないようにしてください。

①



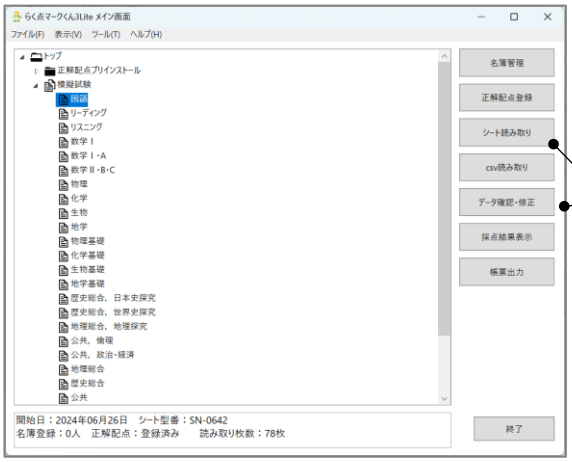
②

③



①データ振り分け画面の「振り分けるシート型番」から、シート型番を選択し、データの振り分けをしたいテストの科目を選択します。
②同画面の右枠のプルダウンを開き、振り分け先のテストの科目を選択します。振り分け先の科目が赤く選択されます。
③左側から対象の読み取りデータを青く選択すると、シート画像が表示され科目欄が表示されるので振り分け先が間違いなければ「振り分ける」をクリックします。

9 データ確認・修正

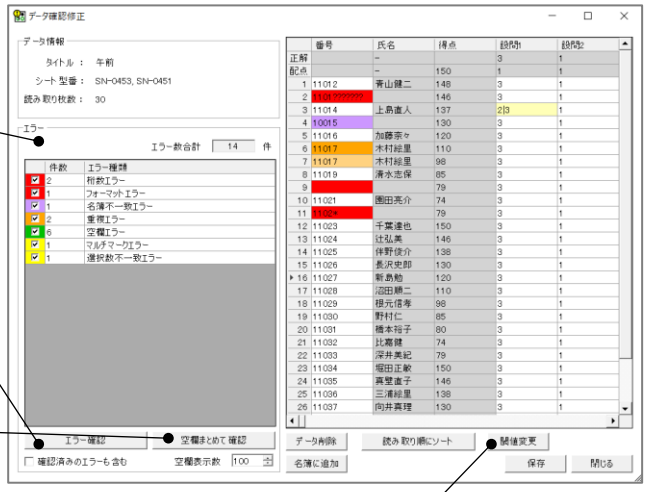


シート読み取り後、エラー箇所を修正します。
エラー修正が完了しないと、正しく結果データや帳票が出力されない事があります。

メイン画面右上の「データ確認・修正」ボタンをクリックしてください。

（補足）
メイン画面右上の「シート読み取り」ボタンをクリックすると、後から追加でシートを読み取りする事ができます。

「データ確認修正」画面について



○「エラー」について
各種のエラーの合計件数と内訳が、
色分けされて表示されます。(図9参照)

「エラー確認」ボタンをクリックすると、
チェックが入っているエラーのデータ修正が
画面が次々と表示されます。
「確認済みのエラーも含む」かどうか選択できます。

「空欄まとめて確認」ボタンをクリックすると、
空欄マーク欄をまとめて確認できます。
表示数も設定できます。（P18参照）

読み取りが終わったらデータ確認と修正作業を行います。
エラーになっているマーク欄には色が付くので、
色が付いたセルをダブルクリックすると「データ修正」画面が表示され、画像として切り出されたシートを確認しながら修正する事ができます。

○「閾値変更」について
マーク認識閾値を調整できます。
（P13参照）

「マークエラー」について

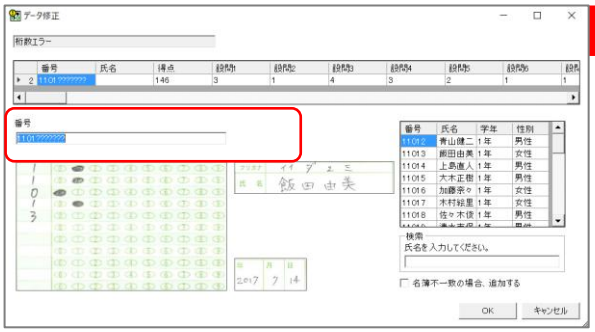
	件数	エラー種類
☑	2	桁数エラー
☑	1	フォーマットエラー
☑	1	名簿不一致エラー
☑	2	重複エラー
☑	6	空欄エラー
☑	2	マルチマークエラー
☑	2	選択数不一致エラー

図9

エラーになっているマーク欄には色が付きます。
その箇所をダブルクリックすると、
マーク欄の画像を見ながら修正する事ができます。
マークエラーの種類ごとに件数が表示されます。

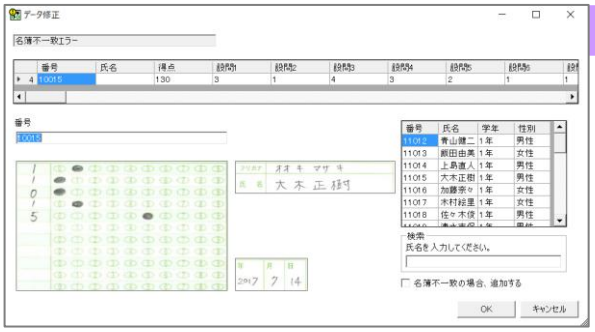
桁数エラー	番号がソフトに設定した桁数と異なっている場合。
フォーマットエラー	番号に「*」や「?」マークなど使用できない文字が含まれている場合。
名簿不一致エラー	マークされている番号が名簿に登録されていない場合。
重複エラー	同じ番号のマークシートが２つ以存在している場合。
空欄エラー	マークがされていない場合、又はマークが薄い為認識できていない場合。
マルチマークエラー	択一マークに設定している箇所に複数マークされている場合。
選択肢数不一致エラー	設定したマーク数と異なる数がマークされている場合。

各種エラーの修正について



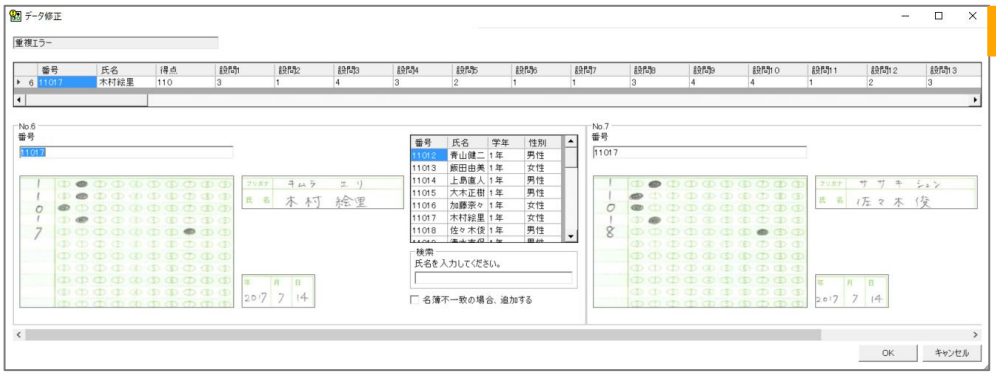
桁数エラー

番号欄に正しい番号を入力し直し、
「OK」をクリックします。
また、右側の名簿リストから正しい番号を選んで
ダブルクリックすると、修正されます。



名簿不一致エラー

名簿に追加登録する場合は「□名簿不一致の場合、
追加する」にチェックを入れて、「OK」をクリックします。
番号を修正する場合は、番号欄に正しい番号を入力し直してから
「OK」をクリックします。



重複エラー

番号を修正する場合は、番号欄に正しい番号を入力し直してから「OK」をクリックします。
データを削除する場合はデータ確認修正画面より「データ削除」ボタンをクリックします。

マルチマークエラー

チェックが入っている選択肢がマーク
されている箇所になります。
修正する場合はチェックを外し
「OK」をクリックします。
修正しない場合はそのまま
「OK」をクリックします。

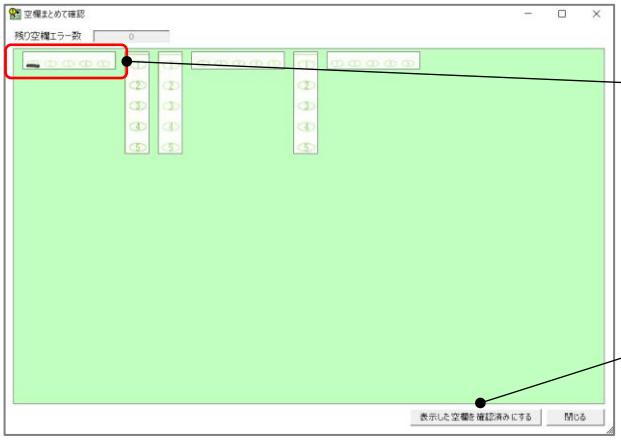
選択数不一致エラー

マルチマークエラーと同様に、
チェックが入っている選択肢が
マークされている箇所になります。
修正する場合はチェックを外し
「OK」をクリックします。
修正しない場合はそのまま
「OK」をクリックします。

空欄エラー

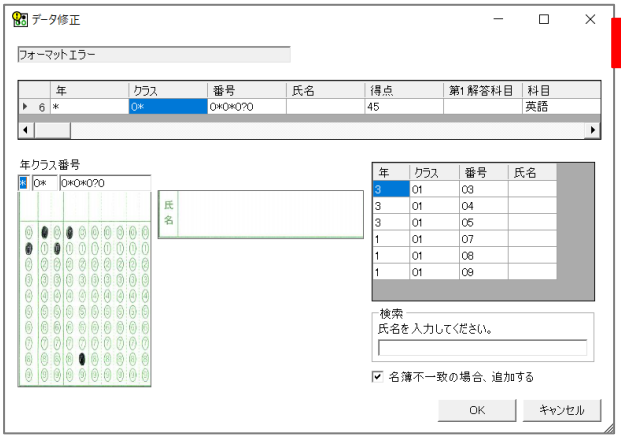
チェックが入っていない選択肢が空欄箇所になります。
修正する場合はチェックを入れ「OK」をクリックします。
修正しない場合はそのまま「OK」をクリックします。

「空欄まとめて確認」画面について



ごくまれにマークされているのに空欄エラーとして検出される事があります。
その場合は、画像をダブルクリックすると上図のデータ修正画面が表示されるので、修正をしてください。

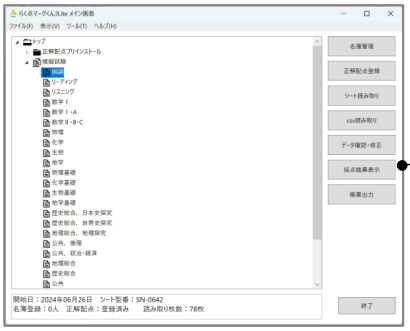
「表示した空欄を確認済みにする」ボタンをクリックすると、画面に表示された箇所が全て確認済みとなり、次の空欄画像が表示されます。



フォーマットエラー

桁数が合っているが、数字や文字が*や?で表示される場合、フォーマットエラーとして検出されます。
正しくマークが認識されていないので、閾値調整で修正します。
（P13参照）

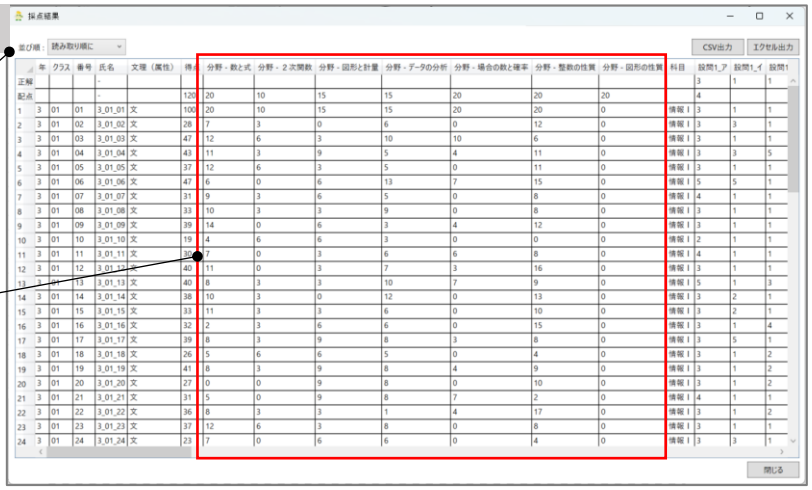
10 採点結果表示



メイン画面の「採点結果表示」ボタンをクリックすると、採点結果が表示されます。（図10参照）

採点結果画面からは、
表示されているデータをCSVもしくは
エクセルファイルとして出力する事ができます。

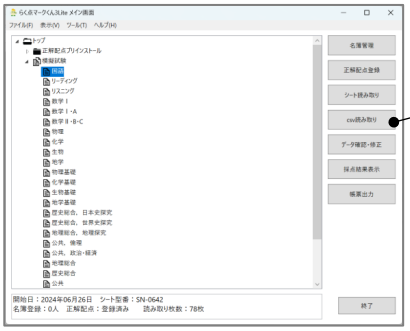
図10



一覧の並び替えをする事ができます。

分野登録をしていると、分野ごとの採点結果が表示されます。

11 CSV読み取り



メイン画面の「CSV読み取り」ボタンをクリックします。

CSV読み取りとは、
ソフトで一度読み取ったシートのデータを、
採点結果表示画面から出力し、別のテストデータに
CSVファイルで取り込み（インポート）する事が
できる操作です。

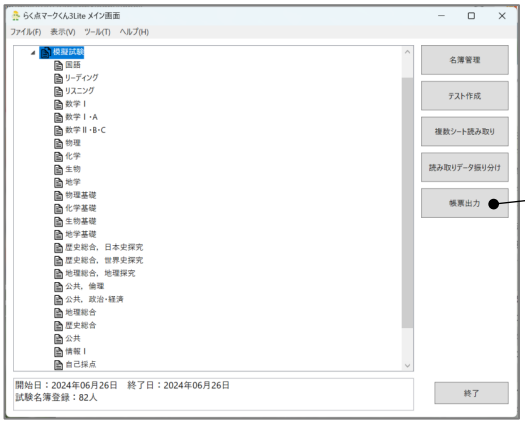
読み取り用CSVについて

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	年	クラス	番号	氏名	文理（属性	得点	科目	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6
2	3	1	23	3_01_23	文	123	国語	2|4	1	5	3	4	4
3	3	1	24	3_01_24	文	139	国語	4	1	5	3	1|2	1
4	3	1	25	3_01_25	文	109	国語	4	1	5	3	5	3
5	3	1	26	3_01_26	文	132	国語	4	4		4	5	5
6	3	1	27	3_01_27	文	140	国語	2	1	5	3	2	3
7	3	1	28	3_01_28	文	136	国語	2	1	5	3	2	1
8	3	1	29	3_01_29	文	129	国語	4	1	4	1	2	4
9	3	1	30	3_01_30	文	127	国語	4	1	5	3	4	3
10	3	1	1	3_01_01	文	200	国語	4	1	5	3	2	1
11	3	1	2			119	国語	3	1	5	2	5	1
12	3	1	3	3_01_03	文	116	国語	4	1	5	4	2	1
13	3	1	4	3_01_04	文	120	国語	5	2	2	3	3	1
14	3	1	5	3_01_05	文	128	国語	3	1	3	3	1	2
15	3	1	6	3_01_06	文	101	国語	4	4	1	5	1	1

項目は、登録しているテストデータと同じものにします。
設問は、テストデータと同じ数か少ない数を用意します。
取り込みする際は、上から2行ある正解と配点データは削除した状態にしてください。

読み取ったデータは、
「データ確認修正」もしくは
「採点結果」からご確認いただけます。

12 帳票出力



採点した結果を帳票として出力します。
帳票出力は試験とテストのどちらからも
データ出力する事ができます。

メイン画面でテストもしくは試験を選択し、
「帳票出力」ボタンをクリックします。

帳票出力ボタンがクリックできない場合
シートが読み取りされていない、
名簿リストが登録されていない、
ライセンスキー登録がされていない
可能性があります。
ライセンスキーの登録はP3をご確認ください。

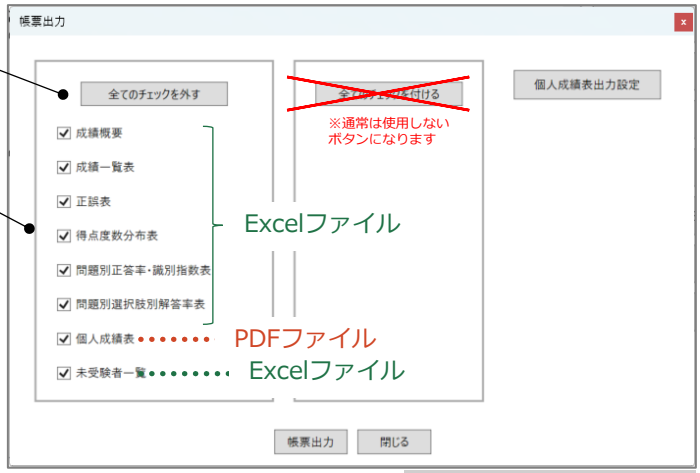
①テストの帳票出力

全てのチェックを一度に外せます。

出力したい帳票にチェックを入れて、
「帳票出力」ボタンをクリックします。

！ポイント！
①一度、「帳票出力」をクリックすると
途中で中断する事ができません。
余裕を持った時間帯での操作をお勧めします。

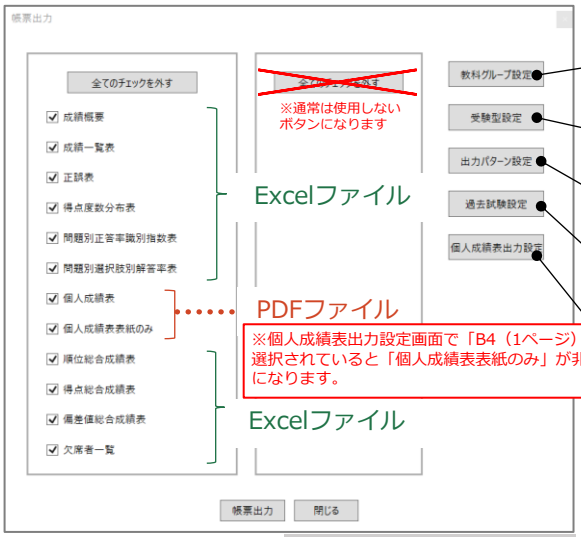
②採点・集計するマークシートが多い場合、
出力に時間がかかる可能性があります。ご了承ください。



テストの帳票出力画面

成績概要	全体と属性ごとの配点、人数、平均点、得点率、標準偏差、最高点、最低点を出力します。 分類登録をされている場合、分類ごとも出力されます。 ※標準偏差とは？　→データや確率変数の散らばり具合（ばらつき）を表す数値です。
成績一覧表	配点と全生徒の人数、総合と分類ごとの平均点、得点率、標準偏差と各個人の順位、得点、得点率、偏差値を一覧表として出力します。登録した属性も表示されます。
正誤表	○×表とSP表の２種類が出力され、○×表では生徒を番号順、設問を番号順に並べ、正誤を○×で表示します。 SP表では生徒を成績順、設問を正答率順に並べ、正誤を○×で表示します。
得点度数分布表	得点による人数の比率が表とグラフで出力されます。属性ごとの得点度数分布表も出力でき、全体と自分を比較したグラフを出力できます。
問題別正答率・識別指数表	ある問題の正誤が、そのテストの成績上位グループと成績下位グループとの間でどのように分布しているかを表す数値です。
問題別選択肢別解答率表	各問題ごとの選択肢別の人数と比率が出力されます。属性を登録されている場合、属性ごとの表も出力されます。
個人成績表	①全体の結果概要　②総合分野別結果　③得点率度数分布表　④総合分野別得点率グラフ　⑤正誤表が帳票として出力されます。
未受験者一覧	登録した名簿リストの未受験者の一覧が出力されます。

②試験の帳票出力



試験の帳票出力画面

登録したテスト（科目）を教科グループとして登録する事が出来ます。（図11参照）

科目、教科を選択して受験型を登録できます。（P23参照）

登録した受験型を出力するかしないかを設定する事ができます。(P23参照)

過去に受けた試験を選択すると、帳票に推移表として表示されます。(P24参照)

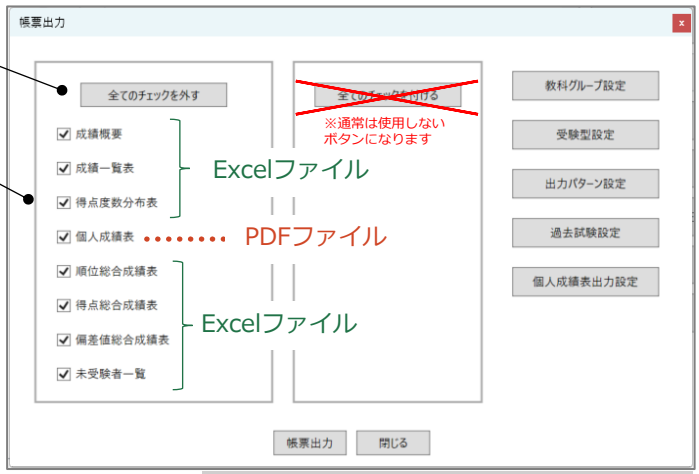
どの受験者の帳票を出力するか、どの項目を出力するかなど設定できます。（P24参照）

個人成績表表紙のみ	①教科・科目別結果　②科目別得点率　③受験型別結果　④成績推移表が帳票として出力されます。
順位総合成績表	試験データに登録した受験型ごとの、全生徒の順位を表としたものです。
得点総合成績表	試験データに登録した受験型ごとの、全生徒の得点を表としたものです。
偏差値総合成績表	試験データに登録した受験型ごとの、全生徒の偏差値を表としたものです。

③自己採点結果入力シート（SN-0649）の帳票出力

全てのチェックを一度に外せます。

出力したい帳票にチェックを入れて、「帳票出力」ボタンをクリックします。



自己採点結果入力シートの帳票出力画面

【自己採点結果入力シートから出力できる帳票一覧】

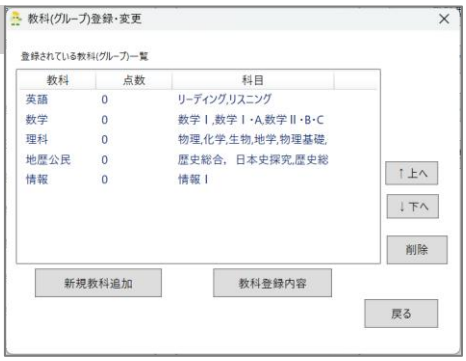
- 成績概要
- 成績一覧表
- 得点度数分布表
- 順位総合成績表
- 得点総合成績表
- 偏差値総合成績表
- 未受験者一覧

自己採点結果入力シート（SN-0649）とは、模擬試験または大学入学共通テストの自己採点結果を、帳票として出力する事が出来るマークシートです。

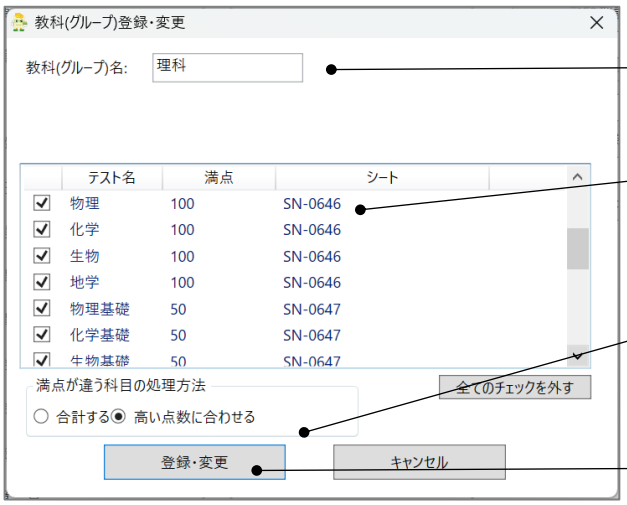
教科グループ設定ついて

作成したテストデータを科目とみなし、
科目をまとめた教科グループを作成する事ができます。科目と教科を組み合わせて、
受験型を設定するために、
教科グループ設定が必要になります。

図11



教科グループ登録・変更画面



グループの名称を入力します。

グループとしてまとめたいテスト（科目）にチェックを入れます。

グループ化するテストの満点が違う場合、合計するか高い点数に合わせるか、処理方法を選べます。（詳しくはP22）

チェックを入れ終えたら登録・変更ボタンを押して、登録します。

満点が違う科目の処理方法について

例えば、「理科」という教科（グループ）の設定において、理科①専門科目（物理、化学、生物、地学）と理科②基礎科目（物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎）を選択した場合、
満点（１００点／５０点）が異なってくるため、下記２つの処理方法を選択できます。

合計する

選択した全ての科目の点数が合計されます。
例えば理科の場合、理科①で選択した科目の点数と、理科②で選択した科目の点数が合計されます。

高い点数に合わせる

選択した科目の点数が高い方に合わせます。
例えば理科の場合、理科②の科目は、５０点の２科目が合計され、１科目として処理されます。
理科②基礎科目で選択した科目の合計点と、理科①専門科目で選択した科目の点数のうち、
点数が高い方が優先されます。

受験型設定について

受験型設定をすると、受験型ごとの結果が帳票に反映します。

登録する受験型の番号が表示されます。
下の枠に受験型の名称を入力してください。
追加ボタンを押すと新しい受験型が
追加できます。
削除ボタンを押すと削除されます。

登録した科目・テスト、教科を選択し、
選択数や加重など設定して「追加＞＞」
ボタンをクリックします。（下記参照）

右側のボックスに科目・テスト、教科が
入ったら、「登録・変更」ボタンをクリック
します。

科目一覧について

教科一覧について

教科を選択すると、
教科として登録した
科目・テストの選択数
が選べます。
選択問題がある場合など、
設定してください。

科目を選択すると、選択数は「必須」となります。
また、受験型に追加するときに加重を設定する事ができます。
（例：教科Aを加重設定する場合、科目Bと科目C併せて２５０点を２００点換算にしたい時は、加重を「0.8」とする）

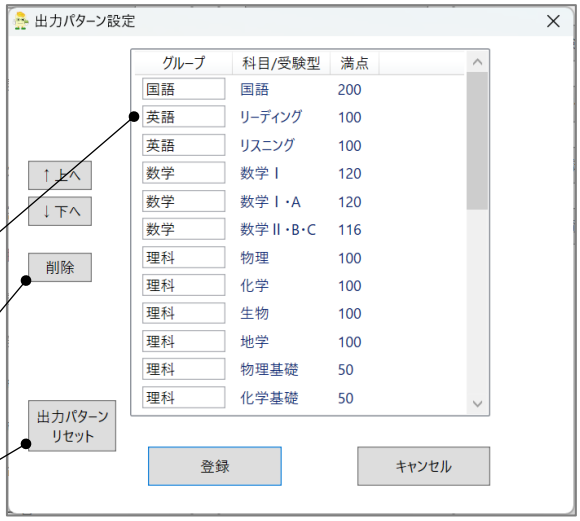
出力パターン設定について

出力パターン設定では、「順位総合成績表」「得点総合成績表」「偏差値総合成績表」に出力したいデータを選択する事ができます。
初期設定では全てのデータが出力される事になっているので、不要なデータを削除してください。

グループ名を登録すると、個人成績表とを出力した際の「教科名」に反映します。

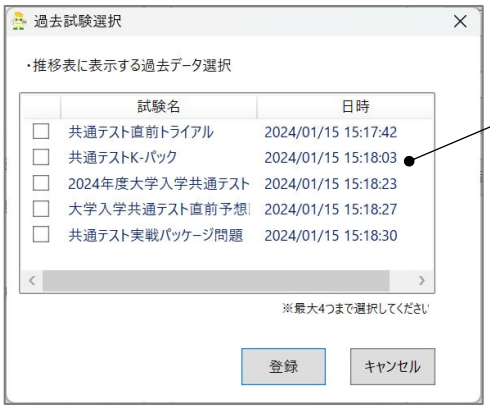
出力がいらないデータを選択し、
「削除」ボタンをクリックします。

削除してしまったデータを最初の状態に
戻す事ができます。



過去試験設定ついて（※今後対応予定）

過去試験設定をすると、帳票の個人成績表の成績推移表に反映されます。

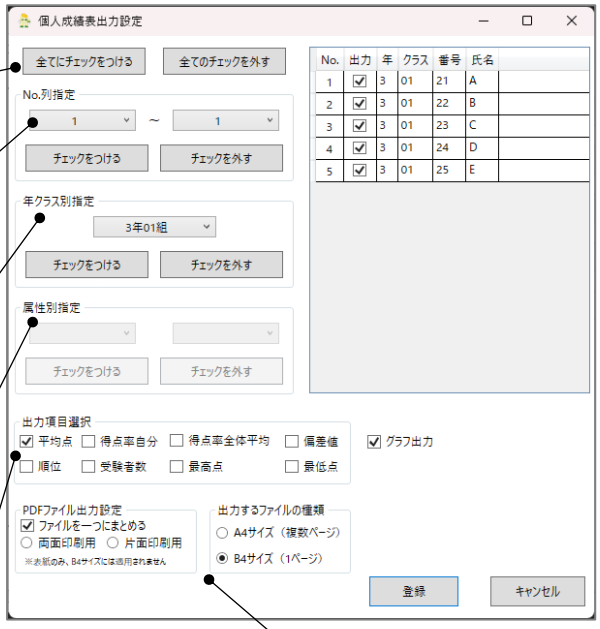


過去の試験データが表示されるので、出力したいデータにチェックを入れます。

！ポイント！
①同じ年クラス番号に該当する生徒の個人成績表に反映します。
②データを選択できるのは最大４つまでです。

個人成績表出力設定について

個人成績表出力設定では、出力したい生徒を選択する事ができます。



出力する生徒を一括でチェックをつけ外しができます。

○「No.列指定」
出力する生徒を選択します。
＊～＊まで範囲を指定して一括でチェックをつけ外しできます。

○「年組別指定」
シートの番号欄形式が年クラス番号の場合、「*年**組」と指定して一括でチェックをつけ外しできます。

○「属性別指定」
属性を設定している場合、
属性項目を指定して一括でチェックをつけ外しできます。

○「出力項目選択」
個人成績表に出力する項目を選択できます。
チェックを外すと、その項目が出力されません。

○「グラフ出力」
チェックを外すと、個人成績表にグラフ全般、「得点率」「成績推移」「度数分布表」などが表示されないようになります。

○「PDFファイル出力設定」
「ファイルを一つにまとめる」は、すべての個人成績表を一つのPDFファイルにまとめて出力されます。
チェックを外すと、一つのファイルに一人分という形式で出力されます。
「両面印刷用」にすると、一人分のファイルが偶数ページになるよう、間に白紙のページが追加されます。
「片面印刷用」にすると、そのまま繋がったデータで出力されます。

○「出力するファイルの種類」
用紙サイズ、帳票のデザインが異なります。
「Ａ４サイズ（複数ページ）」→カラー、グラフ出力可
「Ｂ４サイズ（１ページ）」→モノクロ、グラフなし
※らく点マークくんセンターLiteと同様の帳票です

13 自己採点結果入力シートの使用方法

自己採点結果入力シート（SN-0649）とは、模擬試験または大学入学共通テストの
自己採点結果を、帳票として出力する事が出来るマークシートです。
自己採点結果入力シートを利用した場合、２パターンの帳票出力方法があります。

帳票出力方法

①試験から帳票出力
・個人成績表
に自己採点結果入力シートのデータが
反映され、出力する事ができます。

②テスト単体として帳票出力
（全科目共通）
・成績一覧表
・成績概要
・得点度数分布表
・未受験者一覧

受けた科目ごとの
帳票が出力されます

・個人成績表
・順位総合成績表
・得点総合成績表
・偏差値総合成績表

データ作成方法

メイン画面に作成された試験データを選択し、「テスト作成」でテストデータを作成します。（P4参照）

テスト名は出力データと出力帳票に反映・印字されます。

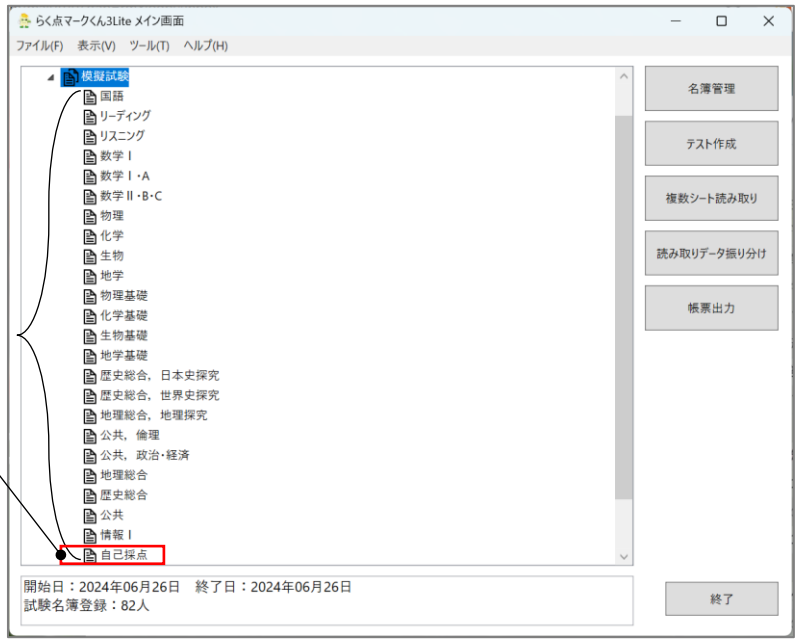
シート型番は、シート型番(SN-0649）を選択します。
型番はマークシートの表面右下に記載があります。

年クラス番号の桁数を設定します。

設定する科目（**自己採点シート**）を選択してください。
※試験データ直下に作成した場合のみ選択します。

試験データ直下に、
自己採点シートを集計する
テストデータを作成されます。
このテストデータに対して、
シート読み取りをします。
データ確認修正まで操作を終
えたら、帳票出力します。
（P20参照）

自己採点シートのテストデータが
作成されます。



※試験データ直下ではなく、テスト単体で作成いただいても、自己採点結果を出力できます。

14 こんな時は（困った時はまず、確認してみてください。）

スキャン画像条件

シートは四隅の内１つがカットされています。
画像ではカット位置が左下になるようスキャンしてください。
また、斜め・折れ・余白・黒枠が無いようにスキャンしてください。
画像のカット位置が左下以外になっている場合や斜め。折れ・余白・黒枠があると
読み取りエラーとなり集計できません。
画像の解像度を200dpiの設定にしてください。

フォルダ読み取り中に、画像処理件数が増えない

※TWAIN方式やScanSnap自動連携を使用していない場合、スキャナの画像保存先と
監視フォルダの場所が一致していないと処理件数が増えません。

対策　監視フォルダをスキャナの画像保存先と同じ場所に設定してください。
らく点マークくん３Liteのメイン画面の、「ツール→読み取り設定→スキャナとの
連携方法及びフォルダの指定」で確認及び設定ができます。

読み取りエラーが出た場合の対処方法

「シート読み取り」画面で読み取りエラー件数が増えてしまった場合、
監視停止をクリックすると読み取りエラーの種類が赤文字で表示されます。

型番認識エラー

テスト作成で設定したシート型番と違う型番のシートをスキャンした場合に
型番認識エラーとなります。

対策　誤ったシート型番を選択してしまった場合は、テスト情報変更より設定し直してください。

補正点取得エラー

シートの四隅の黒い四角が正常にスキャンできなかった場合や画像のカット位置が
左下以外の場合に補正点取得エラーになります。

対策　エラー画像の四隅の汚れを画像編集ソフト（ペイント等）で消してください。
シートが折れていた場合等は直して再度シートのスキャンをしてください。
対策　シート画像のカット位置が左下になるように読み取りください。

ページ不整合エラー

両面シートの読み取りで表裏が逆や、片面の画像が読めなかった場合に
ページ不整合エラーになります。

対策　すべてのシートの表裏が揃っている事をご確認ください。

対策　スキャナへのシートのセット方法を確認し、正しくセットしてください。

対策　スキャナの設定が両面スキャンする設定になっているか確認し、両面スキャンする設定にしてください

画像変換エラー

画像ファイルが壊れていたりして、画像ファイルが開けなかった場合に画像変換エラーになります。

対策　もう一度画像ファイルの作成を行ってください。

読み取りエラーとなってしまった場合、「監視停止中」画面下にエラー画像保存フォルダが表示されますので、「開く」からエラーになったシート画像の確認をする事ができます。

シートの混在読み取りについて

共通テスト模試シートの場合、同じ教科・科目のシートは混在して読み取りする事ができます。

SN-0642（共通テスト模試シート国語・英語）と SN-0581（共通テスト模試シート国語・社会・英語※旧課程対応）
⇒型番設定は、どちらに合わせても読み取りが可能です。

採点タイプ一覧表

0	通常採点	8	複数マーク部分一致
1	順不同全一致	9	全員正解
2	順不同部分一致	10	解答者全員正解
3	連続一致	11	スキップ
4	順不同部分一致 正解数に応じて	13	マーク一致OR
5	連続一致OR	14	空欄正解
6	複数マーク択一		
7	複数マーク全一致		

P11-12で設定した採点タイプの
一覧表になります。
正解配点登録ファイルの
採点タイプに左図の採点タイプの数字を
入力してください。

エラーが発生した、不具合が解消されない時は

システムエラーの発生や不具合が解消されない場合は、診断用データのご提出をお願いしています。
調査結果のご報告と、対処方法についてご回答いたします。

ご提出方法

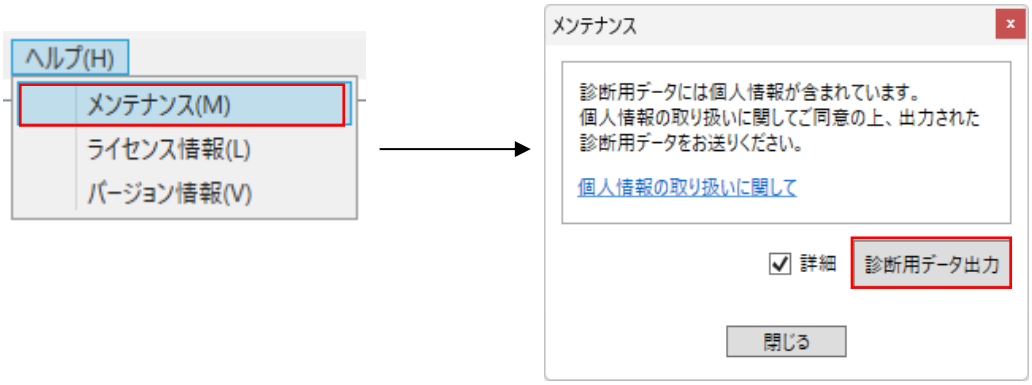
①診断用データを出力します。※出力方法は下記にてご確認ください。
②**info@scanet.jp**宛に出力された診断用データをお送りください。

件名：らく点マークくん3Liteのエラーに関するお問い合わせ
本文：学校名、氏名、エラー発生時の直前の操作
（このボタンを押した等）をご記載ください。

※診断用データのサイズが大きすぎてメールでお送り頂けない場合は、
大容量ファイル転送サービス等をご利用ください。
※内容によっては回答をさしあげるのにお時間をいただくこともございます。
また、休業日は翌営業日以降の対応となりますのでご了承ください。

診断用データの出力方法

①メイン画面の上部にある「ヘルプ」をクリックし、「メンテナンス」を開きます。
②「診断用データ出力」ボタンをクリックし、ファイルをデスクトップ上などに出力・保存します。



15 お問い合わせ

ソフトウェアサポート

らく点マークくん3Liteの操作についてご不明な点などがございましたら製品サポートをご利用ください。

スキャネット株式会社

✉ info@scanet.jp
サポートダイヤル：03-4582-3982
（平日9:00～12:00／13:00～18:00）

マークシートの購入はこちらから

スキャネット **検索**

URL:https://www.scanet.jp/